

学校給食運営協議会 会議記録（概要）

開催日時	令和4年9月16日（金） 18：30～21：00 南分館 601 会議室	作成	学校教育部 学校給食課
件名 （所管）	三田市学校給食のあり方について 委嘱及び会長、副会長専任、諮問、アンケート検討 (学校教育部学校給食課)		
出席者	委員	原田賢一郎会長、高橋享子副会長、山口未央委員、高山乗成委員、川口知世委員、乾哲郎委員、川瀬和正委員 (リモート参加も含む)	
	オブザーバー	大向校長（松が丘小学校）、王子教頭（狭間中学校）、増谷栄養教諭（松が丘小学校）、大西課長（すくすく子育て課）	
	事務局	鹿嶽教育長、松下部長、浅野次長（学校教育部）、廣瀬課長、西中参事、西田主幹、森係長、田所係長（学校給食課）	
傍聴人	4人		
<p><議事></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 委員紹介(委嘱) 2. 会長・副会長の選出 3. 諮問 4. 学校給食の現状 <ol style="list-style-type: none"> (1)学校給食の実施状況 (2)学校給食の経費等 (3)三田市産農産物等の使用状況 (4)学校給食費徴収の収納状況 5. 給食に関するアンケート調査について 6. その他 			
使用した資料			
<ol style="list-style-type: none"> ① 令和4年度三田市学校給食運営協議会委員名簿 ② 配席表 ③ 第1回学校給食運営協議会資料(1～17頁) ④ 諮問書 ⑤ 三田市の学校・園における食育推進計画(概要版) ⑥ 学校給食予定こんだて表(R4.4～9月、ゆりのき台給食センター) 			
会議概要			
<p>会長に原田委員、副会長に高橋委員を選任 学校給食の現状について事務局より説明 給食に関するアンケート調査について事務局より説明、一部修正のうえ実施することとなる。</p>			

主な意見

「学校給食の現状」

- ・平成26年度全国的な残食率は平均6.93%となり、三田市の平成29年度調査では小学校で1.6%、中学校で0.5%、全体1.0%であり三田の児童生徒はよく食べていると考える。
- ・調理用燃料代等の食材費以外について、三田市以外でも保護者負担を求めているのか？
- ・地場野菜を生産しているパスカル三田学校給食部会には兵庫県認定エコファーマーでないと加入できない。エコファーマーになるためには、土づくり、減農薬化学肥料を少なく使うという基準をクリアしないといけない。
- ・三田市の野菜の使用は48品目の内15品目が地場産物の使用となり31.3%

「給食に関するアンケート調査について」

- ・Q10に「栄養の知識と栄養のバランスを知る」追加。学校給食を介して栄養のバランスの知識を付けてほしい。
- ・Q20の抑えていた副食を平成26年度水準に戻すということは、簡単に言えば副食が寂しくなってきたということ、具体的に副食が寂しくなっていることが分かるようにした方がよいのではと思う。
- ・Q20について、三田市はスリーディッシュだが、他市はツーディッシュのところが多い。三田市はぶたじゃがやかき揚げ等主菜がきちっと出てくる。「副食」が何を示しているかはっきり表した方がよいと思う。
- ・各市の給食費の内訳の考え方が違うならば、載せ方を検討したほうが良いのでは、表で比較するのであれば同じ土俵にのせて比較しなければ伝わらないと思う。
- ・給食の写真等があればすごくわかりやすのではないかと思う。平成26・27年度の副食がどのようなものか、今がどのようなものかがビジュアルであればイメージしやすい。
- ・実際に目で見て体験するために給食センターの見学や試食会も実施して欲しい。